

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2021 年 3 月 1 4 日作成 第 2 版

研究課題名	消化管穿孔術後の経過に影響を与える周術期の危険因子の検討
研究の対象	2012 年 9 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに、横浜市立大学附属市民総合医療センターで消化管穿孔に対して手術を施行された患者さんを対象としています。
研究目的 ・方法	消化管穿孔は腹部緊急疾患であり、術後に合併症をきたす患者さんも多く、周術期管理上重要な手術です。術後経過に影響を与える周術期の危険因子を明らかにすることが目的です。 研究方法としては、診療録や麻酔記録から情報を収集し、統計解析を行います。
研究期間	西暦 2020 年 12 月 8 日（研究承認日）～ 西暦 2023 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	以下に記載される日常診療で実施された項目を本研究で使用します。 新たな検査や採血を行うことはありません。 1) 一般情報：年齢、性別、身長、体重、手術年月日 2) 診断名、手術された疾患の詳細、手術部位、手術の詳細（アプローチ法） 3) 麻酔関連情報：ASA-PS 分類（米国麻酔学会術前身体状態を表す分類です。）、麻酔方法、使用した麻酔薬、麻酔時間、手術時間、輸液量、輸血量、出血量、尿量、抗菌薬、その他の薬剤、血糖値、術中の血圧、心拍数、体温、中心静脈圧、血液ガス分析値 4) 術前の合併症（心筋梗塞、心不全、末梢血管疾患、慢性呼吸器疾患、糖尿病、悪性腫瘍、肝炎・肝硬変、食道静脈瘤、腎障害、消化性潰瘍、膠原病、脳卒中、片麻痺、認知症、HIV/AIDS）、高血圧の有無、術前の内服薬（降圧薬、ステロイド、抗血小板薬、抗凝固薬） 5) 血液検査所見：術前、術直後の肝機能検査（AST, ALT, LDH, ビリルビン, ALP, γ GTP）、術前から術後 7 日目までの腎機能検査（尿素窒素, クレアチニン, 推算糸球体濾過量）、術前の糖尿病関連検査（HbA1C, 血糖値）、術前から術後 7 日目までの凝固機能検査（PT-INR, APTT, フィブリノーゲン, FDP, D-ダイマー） 6) 術前の胸部 X 線、CT 画像 7) 術前の心電図 8) 予後（2020 年 10 月 30 日までのデータを収集します。）：入退院年月日、死亡の有無、集中治療室、またはそれに準ずる入院病床への入室の有無、血液透析の実施の有無、人工呼吸器使用期間、周術期輸血量

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科

（研究責任者） 中島 大介

電話番号： 045-261-5656（代表）

電話番号： 045-253-5355（医局直通） FAX：045-253-5705（医局直通）